

I 第35回健康学習研修会「行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得」

2016年7月7日(木)9時40分～8日(金)17時15分

ねらい：「健康学習」の主体は住民。専門職が教える健康づくりでなく、住民が学ぶ健康。健康診断のデータを入力に住民の健康生活にどう結びつけていくか。保健医療従事者の関わりが意識を動かし、住民が自ら行動を興し、自分らしい健康につながっていくサポートが求められる。知識伝達、健康体験は健康行動のきっかけになる。健康問題を自分事として考え、継続的な健康行動に繋げるコミュニケーション法が健康学習の基本である。人のやる気を引き出す個対個のコミュニケーション法、集団を元気にする教室の運営法、住民が、主体的に健康事業に参加し、住民と専門職が一体になった事業の展開法をつかむ。保健医療従事者に求められる健康学習の実践的技法・発想がわかる2日間。

内容：① 住民が元気になるコミュニケーション／② 住民の視点に立ったメタボリック症候群対策／③ 集団対象の健康学習の基本 他

対象者：保健師、管理栄養士、医師

定員：30人 **受講料：**18,000円

申込期間：2016年4月1日(金)～6月17日(金)

II 第16回健康企画・評価研修会「住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法」

2016年7月28日(木)9時40分～29日(金)17時15分

ねらい：保健事業は何をもって成功と言えるのか。住民の満足度、データ改善、保健医療従事者の納得度、医療費の安定化……。立場、時代、社会状況により健康のキーワードの優先順位は変わる。目標設定を明確にした内容、運営法の工夫が求められる。健康情報の伝達に加え、保健医療従事者に「企画力」「評価力」「人材育成力」「連携力」「広報力」が求められる時代となった。とりわけ、医療費の安定化が叫ばれる今、事業の企画法に知恵が必要である。結果の出る保健事業の企画・評価について総合的に習得する。時代と社会が求める自分づくりの2日間。

内容：① 健康事業企画の基本的考え方／② 参加したくなる心の元気教室の企画法／③ 住民が参加したくなる広報の実際／④ 具体的事例検討 他

対象者：保健師、栄養士、担当者および責任者

定員：30人 **受講料：**18,000円

申込期間：2016年4月1日(金)～7月8日(金)

III 第37回保健活動研修会「保健活動に生かす疫学・統計セミナー(学会発表・論文執筆まで)」

2016年8月5日(金)14時15分～7日(日)14時45分

ねらい：日常の保健活動を発展させていくためには、常に現状を評価し、新たな目標の設定と計画の策定が必要である。そのためには保健活動の現場における調査・研究の手法を身につけ、実際に研究を行い、最終段階として学会発表や論文執筆により世の中からの評価を受けなければならない。本研修会では、まず研究の基礎となる疫学・統計学の基礎を学び、その上で、グループワークを通じて具体的な研究計画の立案にチャレンジする。さらに、実際のデータを用いて、データの処理・集計に必要なパソコンの技術を習得する。最終日には、学会発表や論文執筆、雑誌の編集委員会との対応等についても議論する。

内容：① 調査研究を遂行するために必要な基礎知識(講義)／② 調査研究を実施するにあたっての現状把握(演習)／③ 政策の策定過程における研究成果の活用(特別講義)／④ 実際の研究計画の立案(グループワーク)／⑤ 実際のデータ処理・集計(演習、パソコン実習)

*当研修会は「日本公衆衛生学会認定専門能力認定に関する規定」に基づき、認定された研修会。

対象者：地域保健、職場保健、学校保健の現場で保健活動を実践する保健師、看護師、栄養士、医師、歯科医師、事務職員／今後、保健活動において研究を行う予定がある者。

定員：30人 **受講料：**25,000円

申込期間：2016年4月1日(金)～7月15日(金)

※ I～III共通

開催場所：自治医科大学地域医療情報研修センター(自治医科大学構内施設)

申込方法：専用の受講申込書に漏れなくご記入のうえ「郵送」にて申し込みください。受講申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。

申込み・詳細問合せ先：〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160(公財)地域社会振興財団事務局研修課
TEL 0285-58-7436 FAX 0285-44-7839
e-mail fdc@jichi.ac.jp
URL <http://www.zcssz.or.jp/>